

教科	数学	科目	高校数学入門	単位数	前期：1 後期：1
レポート提出回数	前期：3 後期：3	最低出席回数	前期：2 後期：2		
使用教科書	数学Ⅰ入門 (全国高等学校通信教育研究会編)	副教材等			
科目の目標					
<p>(1) 通信制での学びに不安を抱える生徒に対して、「高校数学入門」を学ぶことによって、自信をつけさせる。</p> <p>(2) 中学校や小学校で学んだ内容の中で、高校の学習内容に入る前に特に身に付けて欲しい内容に絞って学ばせる。</p> <p>(3) 自分に必要な内容を自分のペースで、時間をかけてじっくりと取り組ませる。</p> <p>(4) 数学の学習を通して、「試行錯誤しながらできるようになるまで何度でも粘り強く考える力」を身に付けさせる。</p>					
期	月	内容	レポート 合格締切日		
前	4	正の数・負の数の加法・減法、正の数・負の数の乗法・除法 計算の順序、分数の加法・減法(1)、分数の約分・通分 分数の加法・減法(2)、分数の乗法、分数の除法、割合、速さ	第1期 (5/29)		
	5				
	6	文字式の表し方、文字を使った式、多項式のたし算・ひき算 指数法則、整式のかけ算・わり算	第2期 (6/26)		
	7	乗法公式(1)、乗法公式(2)、因数分解(1)、因数分解(2) 因数分解(3)	第3期 (7/31)		
	8	反復演習 試験対策問題演習 前期定試			
後	9	1次方程式とその解き方、平方根、根号をふくむ式のかけ算・わり算、根号のついた数の変形、根号をふくむ数のたし算・ひき算 分母の有理化	第4期 (10/16)		
	10	2次方程式(平方根の考えを用いる解き方)、2次方程式(因数分解を用いる解き方)、2次方程式の解の公式、座標、関数とその値、1次関数とそのグラフ、2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ 相似な三角形、三平方の定理、度数分布表とヒストグラム、代表値			
	11	反復演習	第5期 (11/13)		
	12	試験対策問題演習	第6期 (12/11)		
	1	後期定試			
2					

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	数学	科目	数学 I	単位数	前期：2 後期：2
レポート提出回数	前期：6 後期：6		最低出席回数	前期：2 後期：2	
使用教科書	改訂版 新数学 I (東京書籍)		副教材等	新数学 I 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>(1) 数と式, 2次関数, 三角比, データの分析, 集合と論証についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し, 事象を数学的に解釈し, 数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数や式を適切に変形する力, 2次関数の値の変化を利用する力, 図形の計量について論理的に考察し表現する力, データの散らばりや変量間の関係について適切な手法で分析する力, 数学的に論証する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>					
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安
前	4	文字を使った式、多項式と単項式、多項式の計算、乗法公式、因数分解、展開・因数分解の工夫と利用		第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31)	2~4回
	5	平方根、根号を含む式の計算、数の分類、分数と小数、1次方程式、不等式の性質、不等式の解き方			1,5~10回
	6	2次方程式とその解き方、2次方程式の解の公式、関数、1次関数とそのグラフ、2次関数とそのグラフ			11~13, 16回
	7	グラフの平行移動、2次関数の最大値・最小値、2次関数のグラフと2次方程式、2次関数のグラフと2次不等式			14, 15, 17~20回
	8	いろいろな2次不等式			21回
	9	前期定試			22, 23回
後		鋭角の三角比、三角比の利用、三角比の相互関係		第4期 (10/16) 第5期 (11/13) 第6期 (12/11)	
	10	三角形の面積、正弦定理・余弦定理、鈍角の三角比の利用、代表値、四分位数と箱ひげ図			24~32回
	11	分散と標準偏差、相関関係、集合、課題学習			33~35回
	12	命題と集合、命題と証明			36~40回
	1	後期定試			
2					

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	数学	科目	数学A	単位数	前期：1 後期：1
レポート提出回数	前期：3 後期：3		最低出席回数	前期：1 後期：1	
使用教科書	新 数学A (東京書籍)		副教材等	新 数学A 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>(1) 場合の数、確率、平面図形の基礎、空間図形、三角形の性質、円の性質についての基本的な性質についての理解を深め、基礎的な知識の習得と処理する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 数え上げの原則や、順列・組合せ及びその総数を求める力、集合の考えを適切に活用し確率を求める力、基本的な図形の性質を作図に活用する力、論理的に考察し表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>					
期	月		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安	
前	4	場合の数、集合、集合の要素の個数、和の法則と積の法則、順列、順列の利用	第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31) 第4期 (10/16) 第5期 (11/13) 第6期 (12/11)	1, 2回	
	5			3～6回	
	6	いろいろな順列、組合せ、組合せの利用		7～9回	
	7	事象と確率、確率の計算、排反事象の確率、余事象の確率、独立な試行の確率、反復試行の確率、条件つき確率、期待値		10～16回	
	8	前期定試			
	9				
後	10	直線と角、多角形の角、三角形の合同と相似 直線や平面の位置関係、多面体	17, 18, 30, 31回		
	11	三角形と比、三角形の重心、三角形の外心と内心 角の二等分線と線分の比、基本の作図、作図の利用	19～24回		
	12	円の接線、円周角の定理、円に内接する四角形 接線と弦のつくる角、方べきの定理、2つの円	25～29回		
	1	後期定試			
2					

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	前期：2 後期：2	
レポート提出回数	前期：6 後期：6		最低出席回数	前期：2 後期：2		
使用教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）		副教材等	新数学Ⅱ 学習書 （NHK出版）		
科目の目標						
<p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 等式や不等式について論理的に考察する力、座標平面上の図形の性質を論理的に考察する力、事象を数学的に考察し、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安	
前	4	3次の乗法公式と因数分解、二項定理、分数式のかけ算とわり算、分数式のたし算とひき算		第1期 (5/29)	1～3回 1～6回	
	5	複素数、複素数の計算、2次方程式の解、解と係数の関係			4～5回 7～10回	
	6	多項式のわり算、因数定理、高次方程式、直線上の点の座標、平面上の点の座標			第2期 (6/26)	6～10回 11～21回
	7	直線の方程式、2直線の関係、円の方程式、円と直線、軌跡、不等式の表す領域、連立不等式の表す領域			第3期 (7/31)	11～16回 22～34回
	8	前期定試				
	9	一般角、三角関数、三角関数の相互関係、三角関数のグラフ				17～20回 35～42回
後	10	三角関数の性質、加法定理、加法定理の応用、弧度法、整数の指数、累乗根、分数の指数、指数関数とそのグラフ		第4期 (10/16)	21～27回 43～55回	
	11	指数関数の利用、対数、対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数、平均変化率、微分係数、導関数、導関数の計算、接線		第5期 (11/13)	28～34回 56～72回	
	12	関数の増加・減少、関数の極大・極小、関数の最大・最小、不定積分、定積分、面積		第6期 (12/11)	35～40回 73～84回	
	1	後期定試			(上段テレビ)	
2				(下段ラジオ)		

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。